

話題

胆汁中 *Helicobacter bilis* と胆道系悪性腫瘍

日本医科大学外科学第1教室 松倉 則夫, 恩田 昌彦,
横室 茂樹, Sirikan Yamada, 田尻 孝

胃内に存在する細菌 *Helicobacter pylori* (*H. pylori*) の発見は胃疾患の理解を根本から変えることとなった。10年前消化性潰瘍, 慢性胃炎, MALT リンパ腫, さらに胃癌まで *H. pylori* と関連すると想像できた臨床家がいただろうか。*Helicobacter* 族はヒト以外にもサル, イヌ, ネコ, 齧歯類にも感染しており, 例えば *H. hepaticus* は A/JCr マウスに肝炎, 肝癌を起こすことが報告されている。このことは *Helicobacter* 族がヒトでも肝胆道疾患に関与しているのではと考えさせる。*H. pylori* は胆汁中では生育が阻害されるため, 一般には胆汁中には存在し難い。一方 *H. pylori* 以外の *Helicobacter* 族では *Flexispira rappini*, *H. hepaticus*, *H. bilis*, *H. canis*, *H. cholecystus*, *H. pullorum* が胆汁中で生存できることが知られている。米国 MIT の JG Fox らは, 胆道系悪性腫瘍の多いチリでの胆石症患者 13/23 (57%) の胆汁中に *Helicobacter* 族が存在したと報告した (Gastroenterology 1998; 114: 755-763)。培養はできなかったが PCR 法で同定し, PCR 産物 8 つをシーケンスして 5 つが *H. bilis*, 2 つが *F. rappini*, 1 つが *H. pullorum* であった。一方で, 胆道系悪性腫瘍の少ないドイツでの胆石症患者の胆汁中に *Helicobacter* 族は検出されなかったという報告もある (Gastroenterology 1999; 116: 1016)。

我々は, 当科および胆道系悪性腫瘍の多いタイ (チェンマイ) での悪性, 良性疾患患者の胆汁中の *H. bilis* を PCR

および PCR 産物のシーケンスにより同定した。当科で胆道癌と診断された 10 症例, 胆石症と診断された 10 症例, およびチェンマイで胆道系悪性腫瘍と診断された 14 症例, および胆道系良性疾患 (主に胆石症) と診断された 26 症例から無菌的に胆汁を採取, DNA を抽出した JG Fox から供与された *H. bilis* の DNA を陽性コントロールとして, *H. pylori* と全く異なる DNA シーケンスを PCR 増幅し, アガロース電気泳動で 99 bp のバンドを検出した。また, PCR 産物のダイレクトシーケンスをおこない *H. bilis* 特異的シーケンスであることを確認した。その結果, 日本人の胆道癌, 膵癌の 5/9 (56%), 胆石症等胆膵系良性疾患の 3/13 (23%) で *H. bilis* 陽性であった。タイ人の胆道系悪性腫瘍の 11/14 (79%) と, 良性疾患 10/26 (38%) にも *H. bilis* 陽性の結果を得られた。

この結果は世界で初めて胆道系悪性腫瘍患者の胆汁中に *H. bilis* が存在することを示したものである。日本人, タイ人の胆石症患者の胆汁中にも *H. bilis* が存在したが, 胆道疾患の多い地域に胆汁中 *H. bilis* の頻度が高い可能性が考えられる。実験的に *H. bilis* を *scid* マウスに投与すると腸炎, 大腸炎, 肝炎を起こす。ヒトの疾患との関与は今後の検討課題である。特に *H. bilis* が正常人の胆汁中には存在しないのか, あるいは炎症が起こったときにのみ存在するのか, 胆石症の *H. bilis* と胆嚢癌, 胆管癌の *H. bilis* は異なるのかなど, 種々の解決すべき問題があるが, 特に *H. bilis* と胆道系悪性腫瘍との関連に興味もたれる。

H. pylori の発見が胃疾患の考え方を変革したように, *H. bilis* が胆道疾患の考え方を変えることになるのか否か, 今後の展開に目が離せない。

(受付: 2000年5月17日)

(受理: 2000年6月1日)

トピックス・用語解説

Infection Control Team (ICT)

Infection control team は病院内で発生する院内感染に対し, 迅速でかつ実働性の高い対応ができるように構成された医療チームのことをいう。構成メンバーは感染対策専門医師 (infection control doctor), 感染対策専門看護婦 (士) (infection control nurse), 臨床微生物医師 (consultant medical microbiologist) などからなり通常 2~5 人で構成される。ICT は病院を構成する医師, 看護, 薬剤, 給食, 検査, 事務などの各部局に対し横断的に活動をし, 発生した院内感染, 院内感染予防についての確かなアドバイスを行う。ICT の役割としては 1) 院内感染発生時の病原体の同定および対策の決定, 2) 感染対策予防策の教育, 3) マニュアルの作製, 4) 院内感染の現状を把握するサーベイランスの実施, 5) 清潔区域の消毒の実施状況の監査などが挙げられる。

(付属病院小児科 浅野 健)